

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年7月26日(2007.7.26)

【公表番号】特表2003-500251(P2003-500251A)

【公表日】平成15年1月7日(2003.1.7)

【出願番号】特願2000-620566(P2000-620566)

【国際特許分類】

B 4 1 J	21/16	(2006.01)
B 4 1 J	3/44	(2006.01)
B 4 1 J	21/00	(2006.01)
B 4 1 J	29/38	(2006.01)
G 0 6 F	3/12	(2006.01)
B 4 1 J	29/00	(2006.01)
G 0 6 K	19/06	(2006.01)

【F I】

B 4 1 J	21/16	
B 4 1 J	3/44	
B 4 1 J	21/00	Z
B 4 1 J	29/38	Z
G 0 6 F	3/12	C
G 0 6 F	3/12	P
B 4 1 J	29/00	Z
G 0 6 K	19/00	E

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月22日(2007.5.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】コンピュータから文書を印刷する方法であって、

(a)コンピュータからプリンタへ文書を印刷するための命令を伝送するステップと、

(b)コンピュータから受け取られた命令に従ってプリンタに文書を印刷するステップと、

(c)文書のアイデンティティおよび文書上の複数の基準点を示すコード化されたデータを文書上に印刷し、そこではコード化されたデータが、文書を基準にした光センサの場所を特定するために、光センサによって読み取ることができる書式の文書上で印刷されるステップと、

を含むコンピュータから文書を印刷する方法。

【請求項2】文書のアイデンティティが、文書識別コードを発行するサーバによって発行される識別コードによって決定される、請求項1に記載される方法。

【請求項3】文書のコピーは、文書上のゾーンに向かって光センサを向けることにより要求されてよく、それが光センサに文書上のコード化されたデータを感知させ、メッセージをプリンタに伝送させ、その結果、プリンタに文書のコピーを印刷させる、請求項1に記載される方法。

【請求項4】印刷プロセスの一部として文書のデジタルコピーがアーカイブされる、請求項1に記載される方法。

【請求項 5】 デジタルコピーが、コンピュータおよびプリンタから遠いサーバにアーカイブされる、請求項 4 に記載される方法。

【請求項 6】 文書を基準にして移動する光センサにより文書に対して変更が要求されてよく、光センサの動きが、光センサにより検出される文書上に印刷されるコード化データによって、および／または光センサに関連付けられた加速時計および／または他の移動検出手段によって検出され、光センサの移動を示すデータが、文書のコピーが要求された変更を組み込んで印刷される前にプリンタに伝送される、請求項 1 に記載される方法。

【請求項 7】 光センサが文書のある特定のゾーンを指定するために使用されるときに、動作を実行するための命令が光センサからプリンタに送られる、請求項 1 に記載される方法。

【請求項 8】 動作が、以下の

- (a) 文書のコピーまたは文書の一部を印刷することと、
 - (b) 文書のきれいなコピーまたは文書の一部を印刷することと、
 - (c) 文書についてステータス情報を印刷することと、
- の 1 つである、請求項 7 に記載される方法。

【請求項 9】 文書が、それぞれが文書上の指定されたゾーンに関連付けられているその上にユーザが選択してよい 1 つまたは複数のオプションを印刷し、ユーザが関連付けられたゾーン内で文書の表面上で光センサを移動することによりオプションを選択肢、光センサがユーザの選択をプリンタに伝送する、請求項 1 に記載される方法。

【請求項 10】 ユーザが光センサで文書の表面上で描画することにより文書上に描画し、光センサの移動がプリンタに伝送され、文書のアーカイブされたコピーとともに記憶される、請求項 6 に記載される方法。

【請求項 11】 文書のアーカイブされたコピーが、ユーザが文書上で描画した線を追加した状態、または追加していない状態で複製できる、請求項 10 に記載される方法。

【請求項 12】 光センサが、ユーザが文書上で描画すると文書上にマーキングを残すマーキングペン先を有する、請求項 10 に記載される方法。

【請求項 13】 光センサが携帯装置である、請求項 10 に記載される方法。

【請求項 14】 コード化されたデータが人間の目には実質的に非可視である、請求項 1 に記載される方法。

【請求項 15】 文書が、複数ページ文書であり、プリンタが自動的にページをいっしょに結合する、請求項 1 に記載される方法。